

2016.9.25 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル

中目黒キリスト教会

聖別会マンスリー

2016年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」(23)

「主にお会いするチャンス」

基督兄弟団一宮教会・中島真美牧師

「それゆえ、聖徒は、みな、あなたに祈ります。あなたにお会いできる間に。」(詩篇 32 : 6)

はじめに：

チャンスを生かす大切さ。「神の民として新しく生まれた者は、共にいます神ご自身とそのみわざを自覚的感じ取りつつ応答する」(ウェスレー) 生き生きした交わりに成長することが聖化の大切なポイント。

1 . 赦しに基づく平安 (詩篇 32:1-7)

- ・この詩篇は、罪深さを自覚した詩人が、主の取り扱いを受けて、罪を認め、告白して、赦しをいただいた経験を歌った歌。
- ・罪の自覚の厳しさ：「骨々が疲れ果て、骨髓はかわききった」= 罪は私たちの人格と生活を蝕む
- ・罪の内容： 「そむき」(ペシャ) = 神への反逆的態度【対神】
「咎」(アウォーン) 具体的行動をそれによる罪責観【対自】、「罪」(ハター) 不正な行動の結果と悲劇【対他】
- ・告白：神に対して罪を知らせ、咎を隠さず、そむきを告白する。それにより主は赦して下さった。
- ・平安と喜び：平安は、赦して下さった主に祈る祈りの場で経験される。詩人は、完全な赦しをくださる神が、いかなる状況でも守ってくださると確信する
- ・機会を生かす：憐み深い神の御業に気づき、応答するチャンスは、全ての人に与えられている

2 . 悟りが与えられる交わり(8-11)

- ・この詩篇は、罪の赦しを得て、主との交わりを回復する前半だけに焦点が当てられて、その後その交わりの中で悟りが与えられる点が忘れられる傾向がある。
- ・主は、赦しを与えられた後に「行くべき道」を教えてください。その「行くべき道」とは： 罪の道に舞い戻らないこと； 私たちの人格を尊重して応答を引き出させるような主の扱いに人格的に応

答することである：迫り 告白、赦し 祈り、保護 感謝、教導・
助言 信頼

- ・主はロボットを操るように私たちを扱わない。だから、私たちの側では「悟り」をもって、主の導きに従おう。
- ・主の導きは、聖徒たちの交わりの中に与えられることも多い。個人の祈りだけではなく、共同的な祈りの中に神の導きを与えられることを覚えて、ともに、神の民としてそれらしく聖化において成長しよう。